

# ハッピー通信

# 13

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」シリーズの現オーナー様に、コンサルティング事業部の高橋がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。

## オーナーインタビュー①



いわき市在住

# H様

高橋：今日は、16年前にハッピーマンションを建築していただいたH様にインタビューをさせていただきます。  
H様は数年前に土地を購入して2棟目のハッピーマンションの建築を考えている方です。そのきっかけは何でしたか？

H様：ある方から、人口減少と今後の賃貸住宅について、話を聞いたのがきっかけです。

高橋：ある方とはどのような方で、お話は具体的にどのような内容でしたか？

H様：幅広い地域で店舗、賃貸住宅を経営されている方です。  
いわき市内でも人口が増加する場所と、減少する場所の二極化が起きていると聞きました。  
人口増加が予想される場所に土地を購入して、ハッピーマンションを建築出来ればと考えました。

高橋：H様は古い貸家をお持ちですので、それを売却してハッピーマンションを建築すれば、事業用資産の買換え特例を利用すると、譲渡税が優遇されますね。

H様：そうです。賃貸住宅の経営は税金を理解することが重要であると思います。  
賃貸住宅を経営して様々な税金があることを知りました。

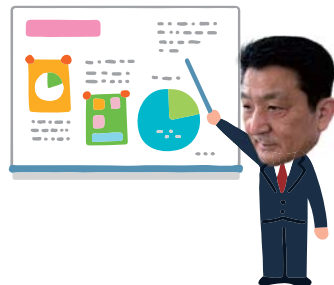
高橋：次もハッピーマンションを建てようとする一番の要因は何ですか？

H様：総合力ですね。賃貸部門、売買部門、賃貸住宅管理部門、コンサルティング事業部門があり、どのようなことも相談できます。

高橋：ハッピーマンションを建ててよかったですか？

H様：このように考えられるのは借入金の返済が終了したからです。  
低価格のハッピーマンションを建ててよかったです。

高橋：H様、今日は色々な質問に答えていただきまして、ありがとうございました。



H様は会社にお勤めしながら賃貸住宅をお持ちです。副業として賃貸住宅をお考えです。賃貸住宅は株式などと比べると、ローリスク、ローリターンと言われます。年金だけでは生活が苦しくなった現代には、適している資産の運用かもしれません。

## インタビューより一言

コンサルティング事業部  
課長  
タカハシ ミツル  
**高橋 光則**



こんにちは  
高橋の  
コンサルの  
ます



暗いニュースが多いなかで、個人的に明るいニュースといえば、大谷翔平選手の活躍です。10年前の花巻東高校時代に、悲壮な顔をして練習をしていたことが思い浮かびます。

当時、丸坊主で細身の身長の高い少年でした。  
グラウンドを離れると、すれ違う人に直立不動で帽子を取って挨拶をしてくれました。他の選手と違ってのは、挨拶の後に笑顔になることが印象に残っています。  
野球のプレーだけで好意を持つ人は少ないと思います。  
大谷翔平選手を見ていると心がなごみ、ワクワクする。  
その原点が高校時代の挨拶にあったような気がします。



# ハッピー通信

# 13

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」シリーズの現オーナー様に、コンサルティング事業部の石山がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



石山：ハッピーマンションを建築した理由をお聞かせください。

K様：手元にある現金を、ただ銀行に預けていてもあまり意味がないし、何か有効的に使えないか考えていた所に御社からの案内が届きアパート経営を考えた事がきっかけです。

私は今県外に住んでいるのですが、他の地域よりもいわき市は土地が安いので地域性で見てもアパートを建築しようかなと思えました。

石山：アパートを建築するうえで色々な会社がある中で、なぜ当社を選んでいただけたのでしょうか？

K様：御社からの案内を見たのがきっかけですが、当時行っていた説明会に参加しアパートについていろいろ教えてもらったことが決め手でした。いわきの中でも知名度が高いという事もあり、そういう面も安心して任せられるかなとも思いました。

石山：当社でハッピーマンションを建築されてみて、どうでしたか？

K様：満足です。アパートの工法、価格等の面でもよかったと思います。

石山：今現在、心配事などはありますか？

K様：震災時の社会情勢や、数年前の洪水の問題等の心配はありますが、御社には入居者を入れてもらっているんで、その点は安心してます。

石山：ありがとうございます。

自分の資産をどう有効活用していくかを考えるのは、とても重要なことだと思いました。今後、こういう相談は仕事柄少なからずされる機会があると思います。その際相談してくださった方のお力になれるよう、様々な知識を付けていかなければならないと思いました。

インタビューより一言

コンサルティング事業部  
係長

イシヤマ ショウタ

石山 翔太



こんにちは。コンサルティング事業部の石山です。先日、知り合いのおばあちゃんから、庭の草刈りを頼まれて、草を刈ってきました。草刈り機を用意していただいたのですが、一回だけしか使ったことがなかったので、起動するのに手間取ってしまいました。庭には竹が生えている場所、雑草が生えている場所、植栽がある場所があり、植えてある花などを間違っって切らないように、ひやひやしなから、草刈りをしました。

